

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2) 記載者氏名:	田島祥光	会員番号:	13058	事務局整理記入欄	北海道 - 72
分水嶺区分: 道東	P1612～H076 ユニ石狩岳	(3) 山行日:	2004年	4月	18日	(4) 天候	晴れ

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

CL 田島祥光	13058	鈴木和夫	13172				
SL 助田陽一	12995	中谷秀子	13657				
助田梨枝子	12996	石田栄子	会友4				
漆崎裕子	13041						
計				7名			
計				名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	P1612(C1) P1676 ユニ石狩岳 P1676 P1612(C1) R273												
アプローチ:	帯広・札幌 糠平温泉 三国峠												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	P1612(C1)	石狩岳	143	6	7.81	43	34	18.86	1,612		6:55		
分水嶺到達点	P1676	"	143	6	4.12	43	34	20.08	1,665	7:10	7:20	B-4	9, 10
H076	ユニ石狩岳	"	143	4	14.30	43	33	52.06	1,756	9:50	10:05	B-4	9, 10
分水嶺離別点	P1676	石狩岳	143	6	4.12	43	34	20.08	1,665	12:30	12:35	B-4	9, 10
歩行終了点	R273	"	143	6	58.96	43	34	6.84	1,050	14:20			
総歩行時間(休憩時間を除く):										5時間15分			
分水嶺距離										3.1 km : その他距離 1.6 km			

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

(9) 水および植生に関連した特記事項

分水嶺上は雪底に覆われ植生はわからないがところどころハイマツが顔をだしている

(10) その他の特記事項

ユニ石狩岳の東肩に登る斜面は約30°ぐらい1200m～300mの距離でアイスバーン、危険な状況であった
分水嶺上からは、北方に大雪山山系、西に音更山、石狩岳南にニベソツ山、ウペペサンケ山が望まれた
ユニ石狩岳登頂後ぐらいからにわかにか強風が吹きつけ、ときおり歩行が困難な状況になった

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: ユニ石狩岳頂上にて